

第4回「北海道防災対策基本条例改正専門委員会」議事概要

1 開催概要

- (1) 日時 平成25年10月18日(金)9:30~11:30
- (2) 場所 かでる2・7 1020会議室
- (3) 出席者 [委員]佐々木座長、河西委員、定池委員、三木委員、立原委員、福井委員、熊谷委員、
田中委員、富田委員、
[道] 藤岡危機対策課長、甲谷防災教育担当課長、阿部主幹、三浦主査、古俣主査ほか

2 議事概要

(1) 開会

- ・阿部主幹から、最終報告書の作成と、今後の流れについて説明した。

(2) 条例改正に係る地域意見交換の開催結果につて

- ・資料1に基づき事務局から説明し内容を確認いただいた。
→北海道地域防災マスターについて委員同士で情報交換をいただいた。
→道として北海道地域防災マスターの認知度向上について検討をしていくこととした。

(3) 「『北海道防災対策基本条例』改正の方向性について」最終報告書(案)について

- ・資料2及び3に基づき事務局から説明し、随時、内容について確認・修正を行った。

- ・検討に当たっての基本的な考え方

- 東日本大震災の教訓もあるが、近年の局地的な大雨や大雪、暴風雪、竜巻などの自然災害についても備えなければならない。

- ・指標からみた課題等

- 第1回専門委員会の資料の方が見やすい。地域防災マスターについても女性の数が分かるなら記載した方が良い。

- ・Ⅱ改正条例の目指す姿

- 「検証」は何の検証を行うのか記載する必要がある。

- ・Ⅲ答申事項1災害想定の見直しと減災の徹底

- (1)の複合災害については、個別な記載とせずバランス良く記載した方が良い。
→(2)の説明書について、災害訓練は防災訓練とした方が適切。

- ・Ⅲ答申事項2防災教育の強化

- (1)の説明書について、ボランティアの必要性は育むのではなく学ぶものである。
→(3)の説明書について、災害検証については後述されるのであれば必要ない。
→(3)の説明書について、事例について説明が必要である。また「語り部」は名詞であるため、語り継ぐこととするべきである。
→(4)の説明書について、「関心の薄い人たち」など表現が対応していないため修正して欲しい。

- ・Ⅲ答申事項3互いに助け合う地域づくり

- (特に意見等なし)

・Ⅲ答申事項4行政機能の強化と広域応援

- (1)の説明書について、行政機能の継続のため、業務継続計画以外でも取組をしているところもあることから、「など」として範囲を広げた方が良い。
- (2)については、予めその体制を整備して、訓練等により連携を強化するものである。
- (3)については、全体的に前後の言葉との関係を整理し表現して分かりやすくする必要がある。

・Ⅲ答申事項5総合的な防災・減災対策の推進

- (1)については、「防災の主流化」はそれ自体が造語であるため括弧書きをする必要がある。
- (4)については、「災害復旧」という表現は適切ではないため、「災害からの復旧」とすべきである。
- (5)については、「総合的」の意味が狭く見えるので修正をする。
- (6)の説明書について、近年の暴風雪についても盛り込む必要がある。